

株主・投資家の皆様へ

第20期

株主 通信

平成23年1月1日から
平成23年12月31日まで

CONTENTS

| | |
|------------------|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| 特集 | 2 |
| 事業の概況 | 5 |
| シークスネットワーク | 7 |
| 連結業績ハイライト | 9 |
| 連結財務諸表 | 10 |
| トピックス | 11 |
| 会社概要 | 12 |
| 株式の状況 | 13 |

シークス株式会社

証券コード 7613

siix
We care.

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役会長兼CEO
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第20期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げますとともに、昨年の東日本大震災により被災された皆様に改めて心よりお見舞いを申し上げます。

2011年は、かつて経験したことのない自然災害に二度も遭遇することとなりました。上半期は東日本大震災の影響が一時的にあったものの、アジア諸国でのデジタル家電機器、車載関連機器への需要が引き続き堅調であったため、売上高と全ての利益項目におきまして、前年同期実績を上回ることが出来ました。しかしながら、震災の影響もおさまりかけた10月に、タイ国にて数十年に一度といわれる大洪水が発生しました。当社の工場建屋などに直接的な被害はありませんでしたが、多くのお客様が浸水被害に遭われ、また当社でも一部の部材が浸水しました。このため、第4四半期の営業面で大きな影響を受けることとなり、通期業績は前期を下回る結果となりました。

2012年12月期は、欧州の財政問題による景気低迷が中国や新興国の経済にも影響を与える懸念があります。また第1四半期はタイの大洪水の影響が残ることが予想されますが、年後半には、復興需要も含めて、当社を取り巻くエレクトロニクス業界の景況感も緩やかに回復していくものと予想しております。当社といたしましては、昨年立ち上げましたインドネシア・カラワン工場や今年から稼働を開始した上海の新工場もネットワークに加えて、早期業績回復に全力を尽くす所存でございます。

株主の皆様には、どうか引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成24年3月

成長著しいインドネシア市場に着目し、アジアでのビジネスを拡大

当社は、経済成長著しいインドネシアの国内市場をターゲットとして、エレクトロニクス関連や車載関連の企業が多く集積しているジャカルタ近郊に製造子会社を設立し、2011年7月から稼働させています。インドネシアでの事業を担当している役員および幹部が、当社のインドネシアにおける取り組みやその狙いについてご紹介します。




インドネシア共和国
首都：ジャカルタ
人口：約2億3,800万人

インドネシアの内需に対応した、ジャワ島初の製造子会社が稼働

バタム島ではシンガポール向けに特化

当社は1994年にシンガポール経済圏の需要に応える製造拠点として、インドネシアのバタム島に、家電および情報機器の基板実装・組立工場であるPT SIIX Electronics Indonesia(以下SEI)を設立。以来、低廉な労働力やシンガポールとのアクセスの良さなどを背景に、事業を拡大してまいりました。

一方、近年、インドネシアは民主化の進展や豊かな天然資源、世界第4位の人口などを背景に高い経済成長率を維持しており、同国へ進出する日系企業の増加とあわせて、

EMS(電子機器受託製造サービス)への需要が年々高まってきています。このようなインドネシア国内の動向を踏まえ、当社は2010年11月、PT. SIIX EMS INDONESIA(以下SEK)をジャカルタ近郊カラワン県に設立、2011年7月から稼働を開始しました。

SEIとSEKはいずれも、家電、情報機器、車載関連機器などの基板実装および組立を行っていますが、ターゲットとする市場が異なります。SEIでは、シンガポール経済圏の製造拠点として、日本・欧米向けを含む輸出品の製造に特化しているのに対して、SEKは、主として、拡大しつつあるインドネシアの国内需要向け電子機器の製造に対応する拠点です。

「地産地消」のものづくりが行える インドネシア市場の魅力

車載用機器など、国内需要が拡大

インドネシア市場の魅力は、労働人口が非常に多く、なおかつ消費国であるため、「地産地消」のものづくりが行えるという点にあります。たとえば、インドネシアの国内自動車販売台数は増加の一途をたどっておりますが、自動車普及率は2010年時点で10%程度であり、今後も人口や所得の増加を背景に、自動車市場は大きな成長が見込まれています。このため、現地に進出した大手の自動車メーカー各社は、生産計画を倍増させており、当社が携わる車載用機器市場を力強く牽引しているのです。

二輪車や家電については車載用機器より早く市場が立ち上がっていますが、所得水準の上昇とともに、今後もさらに市場が拡大していくと予想されます。反面、インドネシアではEMSはまだ発展途上であり、本格的に事業を展開する企業



池田 喜和 Yoshikazu Ikeda

執行役員 タイ地域、インドネシア地域担当 /
SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. チェアマン /
PT. SIIX EMS INDONESIA プレジデント・ディレクター
タイでの長年の工場経営の経験を活かし、SEKの設立・経営に携わる。

は少ない状況にあります。

このようなインドネシアの状況に対して、SEKはお客様の現地でのものづくりを支えるべく、EMS事業を展開してまいります。バタム島やタイをはじめとする製造拠点で蓄積した経験を活かして、自動車産品質マネジメント規格のTS16949の認証取得、クリーンルームをはじめとする製造設備の整備などを進め、「ジャカルタにシークスあり」と称されるような会社になりたいと考えています。

| 名 称 | PT SIIX Electronics Indonesia (略称SEI) | PT.SIIX EMS INDONESIA (略称SEK) |
|----------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 所在地 | インドネシア リアウ諸島バタム バタミンド工業団地内 | インドネシア 西ジャワ州カラワン県 カラワン工業団地内 |
| 設立年度 | 1994年 | 2010年 |
| 代表者 | 中井 徹郎 マネージングディレクター | 池田 喜和 プレジデント・ディレクター |
| 面積(土地/建物延べ面積) | 20,418㎡ / 11,749㎡ | 20,000㎡ / 10,924㎡ |
| 従業員 (2011年12月末現在) | 1,933名 (日本人:3名 ローカル社員:1,930名) | 177名 (日本人:4名 ローカル社員:173名) |
| 事業内容 | 情報機器、車載関連機器等の基板実装、組立 | 情報機器、家電機器、車載関連機器等の 基板実装、組立 |
| 保有マネジメント規格 | ISO9001, ISO14001, TS16949 | ISO9001 |

現地人材の活用を基本とした 雇用方針を堅持しています

風通しの良い職場づくりに尽力

雇用については他の拠点同様、現地の人材を中心に採用しています。

インドネシア人は勤勉で性格は温厚、しかも手先が器用で、定着率が高いと言われています。一方、インドネシア政府の手厚い労働者保護政策のもと、労働者の権利意識が強いという特徴もあります。

インドネシアの拠点においては、このような労務や労働市場の特性に対応した人材マネジメントを行っていく必要があります。日ごろから働き甲斐のある風通しの良い職場づくりを進め、ローカル社員の声に耳を傾けることで、不満の芽をつみとり、良好な労使関係の構築につなげていく努力をしています。



多田 詔一

Shoichi Tada
PT. SIIX EMS INDONESIA
マニュファクチャリングディ
レクター
パタム工場（SEI）9年の
経験を買われ、2011年5月
よりSEKの工場長を務め
る。インドネシア事情に精
通。

中井 徹郎

Tetsuo Nakai

執行役員 / PT SIIX
Electronics Indonesia
マネージングディレクター
2004年よりSEIの工場
長を務める。パタム島での
ものづくりに12年の経験
を有するベテラン。SEKの
設立支援にも尽力。



インドネシアにおける 「日本のものづくり」を支えます

2012年度には販売子会社も稼働

今後も円高などさまざまな要因から、日系企業による生産拠点の海外移転は活発に進められると思われます。そのような中、当社はインドネシアにおけるものづくりを力強くサポートしていきたいと考えています。

また、2012年度には、ジャカルタに販売子会社であるPT. SIIX TRADING INDONESIAを設立いたします。この拠点とも連携し、電子部品の調達、ものづくり、物流といった当社が得意とする複合的なサービスをインドネシアでも展開して、インドネシアの発展と日本企業の活躍を支えていきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

事業の概況

REVIEW OF OPERATIONS

経営成績

当連結会計年度においては、3月11日に未曾有の東日本大震災に見舞われたことにより、サプライチェーンが寸断され、部材不足が当社の事業に少なからぬ影響を及ぼしました。その後、サプライチェーンは復旧が予想以上に早いペースで進んだため、夏場にはほぼ震災前の水準まで回復しておりましたが、10月初旬にタイで大洪水が発生しました。当社の工場等に直接的な被害はなかったものの、主要顧客の浸水被害による操業停止等により当社の工場や販売拠点の業務が大きな影響を受けました。

このような状況下、当社の当連結会計年度の**売上高は1,678億2千5百万円**となり、前連結会計年度に比べ13億4千4百万円の増加(0.8%増)となりました。しかし利益面においては、円高の影響や新たに連結の範囲に含めた製造子会社の初期費用をカバーするまでにはいかなかったこと等により、**営業利益は40億2千7百万円**となり、前連結会計年度に比べ13億4百万円の減少(24.5%減)となりました。また**経常利益は45億8千2百万円**となり、前連結会計年度に比べ10億6千3百万円の減少(18.8%減)となりました。当期純利益は**27億2千3百万円**となり、前連結会計年度に比べ5億4千7百万円の減少(16.7%減)となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドルが79.93円(前連結会計年度比9.0%円高)、ユーロが111.38円(前連結会計年度比4.4%円高)、タイバーツが2.62円(前連結会計年度比5.4%円高)、香港ドルが10.27円(前連結会計年度比9.2%円高)であります。

中長期的経営戦略

市場のグローバル化の進展とともに、当社グループ事業のコア領域であるエレクトロニクス業界をはじめ、多くの産業分野において、海外での製造拠点が増加し、これに伴って物流面では国内と海外の間のみならず海外と海外の間でのグローバルなモノの動きが加速しております。このため、製造業のニーズは、生産技術や品質にとどまらず、部材調達や製品物流を含めて、自国での生産と同様の効率性を海外においても実現することに移ってきております。

当社の「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」としての事業も、このような企業のグローバル化の動きから発生するアウトソーシングのニーズに対応することにより拡大してまいりました。今後中長期的にも、自らの強みと認識しております「商社・物流・製造の機能を併せ持つ多機能性」と「物流・製造のグローバル・ネットワーク」を活かして、トータルなEMS(電子機器受託製造サービス)を提供していくことにより事業の成長をはかってまいります。

対処すべき課題

企業の海外生産の進展にともなって、部材調達や製造のアウトソーシング・ニーズが益々高まっております。こうしたニーズに応えることにより事業を拡大していくために、当社は以下の課題に取り組んでおります。

- ① 企業の海外生産動向に対応した拠点ネットワークの整備
拡充と拠点間シナジー効果の発揮
- ② 電子部品のグローバル調達力の強化および物流サービスの高度化
- ③ 製造技術力および生産効率の向上への継続的取組
- ④ 環境・省エネ、インフラ、医療関連等、新たなエレクトロニクス分野での新規事業の開拓
- ⑤ 資産効率の継続的改善

品種別の概況

当社グループは、主に通信機器、家庭電気機器、車載関連機器、情報機器、産業機器、一般電子機器・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装品、部品単体・キット等を調達、製造および販売しております。その他、ワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等を取扱っております。

当連結会計年度の品種別売上高は、家庭電気機器の分野では、64,901百万円（前年比7,618百万円増）となりました。これは主に、ゲーム機用部材およびAV機器用部材の出荷が増加したことによるものです。また、車載関連機器の分野では、タイの大洪水の影響を受け車載AV機器用部材の出荷が減少しましたが、車載電装品用部材の出荷が増加したこ

とにより、37,196百万円（前年比29百万円増）となりました。産業機器の分野では、26,174百万円（前年比2,701百万円増）となりました。これは主に、汎用エンジン・航空機内設備関連の売上高が増加したことによるものです。また、情報機器の分野では、プリンター関連およびパソコン関連の売上高が減少したことにより、21,254百万円（前年比3,802百万円減）となりました。通信機器の分野では、4,737百万円（前年比3,543百万円減）となりました。これは主に携帯用カメラモジュール関連および携帯用基地局関連の売上高が減少したことによるものです。一般電子部品の分野では、2,877百万円（前年比1,470百万円減）となりました。その他の分野では、10,687百万円（前年比188百万円減）となりました。

家電機器



車載



産業機器



情報機器



通信機器



一般電子部品



その他



品種別売上高

| 品種 | 第19期 | | 第20期 | |
|-----------------------|---------|-------------------|---------|-------------------|
| | 金額(百万円) | 構成比率(%) | 金額(百万円) | 構成比率(%) |
| ● 家電機器 (デジタル家電、エアコン等) | 57,283 | 34.4 | 64,901 | 38.7 |
| ● 車載 (車載電装品、カーオーディオ等) | 37,167 | | 37,196 | |
| ● 産業機器 (汎用エンジン用基板等) | 23,473 | 22.3 | 26,174 | 22.2 |
| ● 情報機器 (スキャナー、プリンター等) | 25,056 | | 21,254 | |
| ● 通信機器 (携帯電話用部材等) | 8,280 | 14.1 | 4,737 | 15.6 |
| ● 一般電子部品 | 4,347 | 15.1 | 2,876 | 12.6 |
| ● その他 | 10,875 | | 10,687 | |
| 計 | 166,481 | 5.0 2.6 6.5 | 167,825 | 2.8 1.7 6.4 |



シークスネットワーク

SIIX NETWORK

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております（2011年12月末現在）。

電子(欧州)

- ⑧  SIIX Europe GmbH ●
- ⑨  SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲

電子(アジア)

- ⑩  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑪  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch ◇
- ⑫  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Suzhou Branch ◇
- ⑬  SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑭  SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ■
- ⑮  SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑯  SIIX TWN Co., Ltd. ■
- ⑰  SIIX Bangkok Co., Ltd. ●
- ⑱  SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. ▲
- ⑲  SIIX Phils., Inc. ■
- ⑳  SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ㉑  SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ㉒  PT SIIX Electronics Indonesia ▲
- ㉓  PT. SIIX EMS INDONESIA ▲

株主の皆様へ

特集

事業の概況

シークスネットワーク

連結業績ハイライト

連結財務諸表

トピックス

会社概要

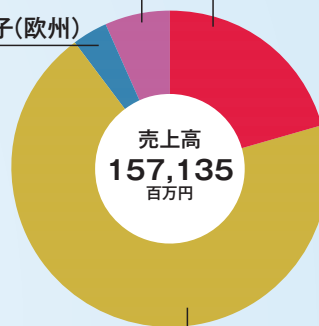
株式の状況

電子(日本)

- ① シークス株式会社 ■
- ② シークスエレクトロニクス株式会社 ▲

セグメント別売上高構成比

| | | | |
|-------------------|--------|--------------------|--------|
| 10,207百万円 6.5% | 電子(米州) | 32,431百万円 20.6% | 電子(日本) |
| 5,582百万円 3.6% | 電子(欧州) | | |



電子(アジア) 108,913百万円
69.3%

※連結売上高167,825百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない10,690百万円が含まれております。

電子(米州)

- ③ SIIX U.S.A. Corp. ●
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch ◇
- ⑤ U.S.A. ZAMA, Inc. ◆
- ⑥ SIIX MEXICO, S.A DE C.V. ●
- ⑦ SIIX do Brasil Ltda. ■

主な事業内容

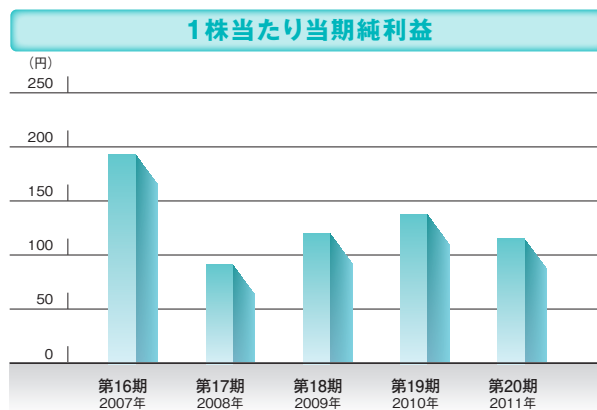
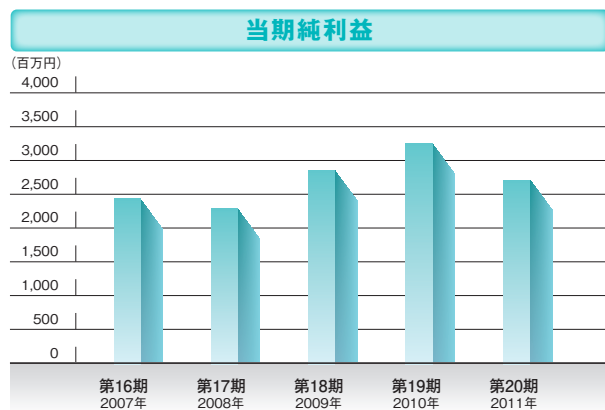
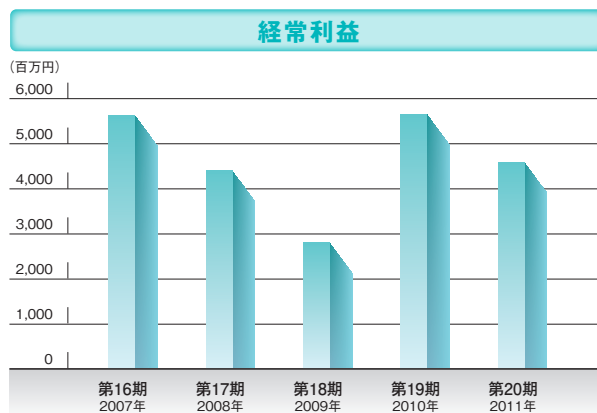
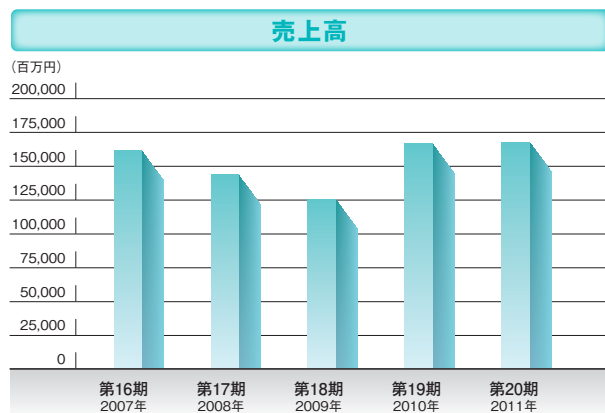
電子部品等の輸出入販売・物流……………● 各種基板実装および機器・部品の組立・加工……………▲

電子部品等の輸出入販売……………■ 小型エンジン用部品の輸出入販売……………◆

支社・駐在員事務所……………◇

連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS



| | | 第16期 2007年 | 第17期 2008年 | 第18期 2009年 | 第19期 2010年 | 第20期 2011年 |
|------------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 売上高 | (百万円) | 161,458 | 143,483 | 125,485 | 166,481 | 167,825 |
| 経常利益 | (百万円) | 5,618 | 4,392 | 2,797 | 5,645 | 4,582 |
| 当期純利益 | (百万円) | 2,447 | 2,306 | 2,868 | 3,270 | 2,723 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 194.29 | 92.22 | 121.11 | 138.59 | 115.41 |

(注) 2008年1月1日付にて、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

株主の皆様へ

特集

事業の概況

シックス
ネットワー

連結業績
ハイライト

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表

単位:百万円

| 科目 | 当期 (2011年12月31日現在) | 前期 (2010年12月31日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 43,884 | 47,912 |
| 固定資産 | 15,587 | 14,874 |
| 有形固定資産 | 11,767 | 9,624 |
| 無形固定資産 | 757 | 845 |
| 投資その他の資産 | 3,061 | 4,404 |
| 資産合計 | 59,471 | 62,787 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 33,475 | 38,966 |
| 固定負債 | 5,869 | 4,050 |
| 負債合計 | 39,344 | 43,017 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 24,735 | 22,708 |
| 資本金 | 2,144 | 2,144 |
| 資本剰余金 | 1,853 | 1,853 |
| 利益剰余金 | 21,416 | 19,388 |
| 自己株式 | △ 677 | △ 677 |
| その他の包括利益累計額 | △ 5,035 | △ 3,359 |
| その他有価証券評価差額金 | 328 | 1,003 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | 16 |
| 為替換算調整勘定 | △ 5,368 | △ 4,379 |
| 少数株主持分 | 426 | 421 |
| 純資産合計 | 20,126 | 19,770 |
| 負債・純資産合計 | 59,471 | 62,787 |

連結損益計算書

単位:百万円

| 科目 | 当期 (2011年1月1日から 2011年12月31日まで) | 前期 (2010年1月1日から 2010年12月31日まで) |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 167,825 | 166,481 |
| 売上原価 | 157,685 | 155,202 |
| 売上総利益 | 10,140 | 11,278 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,113 | 5,947 |
| 営業利益 | 4,027 | 5,331 |
| 営業外収益 | 787 | 507 |
| 営業外費用 | 232 | 192 |
| 経常利益 | 4,582 | 5,645 |
| 特別利益 | 5 | 24 |
| 特別損失 | 449 | 670 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,138 | 4,999 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,321 | 1,425 |
| 法人税等調整額 | △ 11 | 215 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,827 | - |
| 少数株主利益 | 104 | 86 |
| 当期純利益 | 2,723 | 3,270 |

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| 科目 | 当期 (2011年1月1日から 2011年12月31日まで) | 前期 (2010年1月1日から 2010年12月31日まで) |
|------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 163 | △ 1,068 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,851 | △ 3,043 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,608 | 716 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 246 | △ 552 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 1,325 | △ 3,947 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,526 | 9,474 |
| 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高 | 250 | - |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,450 | 5,526 |

※連結貸借対照表・連結損益計算書・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

株主の皆様へ

特集

事業の概況

シックス
ネット
ワーク

連結業績
ハイライト

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

トピックス

T O P I C S

2011年

5月 インドネシア(バタム島)製造 子会社、TS16949取得

インドネシア(バタム島)の製造子会社 PT SIIX Electronics Indonesiaが自動車産業向け固有要求事項を付加した品質マネジメントシステムの国際規格 ISO/TS16949:2009を取得いたしました。

7月 インドネシア(西ジャワ)製造 子会社、稼動開始

昨年11月に設立いたしました、インドネシアで2つ目の製造拠点である、PT. SIIX EMS INDONESIAが7月より稼動を開始いたしました。成長著しいインドネシア国内の内需に応じてまいります。



9月 中国・上海に製造合弁会社 設立を決定

中国・上海においてJUKI(株)との合弁による製造子会社SIIX EMS(Shanghai) Co.,Ltdの設立を決定いたしました。発展著しい中国華東・華北地域における製造拠点として、お客様の幅広いニーズに応じてまいります。

(※2012年3月より稼動を開始いたしました。)

11月 個人投資家向け 会社説明会参加

11月26日(土)に東京証券会館で開催されました、日興アイ・アール(株)主催個人投資家向け会社説明会に参加し、多数の個人投資家の皆様にご参加いただきました。

12月 インドネシア(西ジャワ)製造 子会社、ISO9001取得

7月に稼動開始いたしましたPT. SIIX EMS INDONESIAが、品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001を取得いたしました。

会社概要

C O R P O R A T E D A T A

会社概要

(2011年12月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 商号 | シークス株式会社 |
| 設立 | 1992年7月1日 |
| 資本金 | 2,144百万円 |
| 従業員数 | 個別 129名 連結 8,301名 |
| 本社 | 〒541-0051 大阪市中央区備後町一丁目4番9号 TEL : 06-6266-6400 FAX : 06-6266-6428 |
| 東京営業部 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南二丁目3番25号 TEL : 03-3238-7000 |
| 証券コード | 7613 |
| URL | http://www.siix.co.jp/ |



取締役、監査役および執行役員 (2011年12月31日現在)

| | | |
|-----------------|-------|---|
| 代表取締役会長 執行役員 | 村井史郎 | CEO(最高経営責任者) |
| 代表取締役社長 執行役員 | 村瀬漢章 | COO(最高執行責任者) |
| 取締役 執行役員 | 大庭勝躬 | 営業担当兼大阪第一営業部長 兼北米地域、フィリピン、南米地域、韓国担当 |
| 取締役 執行役員 | 近藤恒雄 | 経営企画部長兼秘書室長兼総務部担当 |
| 常勤監査役 | 東尾茂郷 | |
| 監査役 | 松井善弘 | サカタインクス株式会社 常勤監査役 |
| 監査役 | 高谷晋介 | |
| 執行役員 | 池田喜和 | タイ地域、インドネシア地域担当 兼SIIX EMS(THAILAND)CO., LTD. チェアマン 兼PT. SIIX EMS INDONESIAプレジデント・ディレクター |
| 執行役員 | 松谷伸規 | 香港・中国華南地域担当 兼SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長 |
| 執行役員 | 水谷嘉弘 | 東京営業部長 |
| 執行役員 | 岡田雅夫 | 資材統括部長兼新規事業開発担当 |
| 執行役員 | 岩武孝明 | 欧州地域担当兼SIIX Europe GmbHマネージングディレクター 兼SIIX EMS Slovakia s.r.o.マネージングディレクター |
| 執行役員 | 松嶋義彦 | シークスエレクトロニクス株式会社代表取締役社長 |
| 執行役員 | 中尾泉 | 大阪第二営業部長兼中国華東・華北地域担当 |
| 執行役員 | 大野精二 | 経理部長 |
| 執行役員 | 長谷川健二 | 情報システム部長 |
| 執行役員 | 高羽斎志 | 上海新工場設立準備室長 |
| 執行役員 | 高濱郷志 | 台湾担当 兼SIIX TWN Co.,Ltd. マネージングディレクター |
| 執行役員 | 中井徹郎 | PT SIIX Electronics Indonesia マネージングディレクター |
| 執行役員 | 外山正一 | シンガポール地域担当 兼SIIX Singapore Pte.Ltd. マネージングディレクター |

※監査役のうち、松井善弘氏、高谷晋介氏は社外監査役です。

株主の皆様へ

特集

事業の概況

シークス
ネットワーク

連結業績
ハイライト

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

株式の状況

SITUATION OF THE STOCKS

株式の状況

(2011年12月31日現在)

発行可能株式総数..... 80,000,000株
 発行済株式の総数..... 25,200,000株
 当期末株主数..... 6,118名

大株主

(2011年12月31日現在)

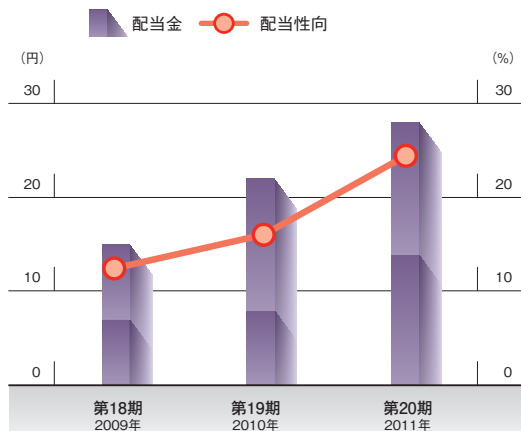
| 株主名 | 株式数(株) | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| サカティクス株式会社 | 5,906,000 | 23.43 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,301,200 | 9.13 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,888,300 | 7.49 |
| 有限会社フォーティ・シックス | 1,100,000 | 4.36 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,077,400 | 4.27 |
| 株式会社三井住友銀行 | 997,400 | 3.95 |
| 村井 史郎 | 700,000 | 2.77 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 360,000 | 1.42 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 356,700 | 1.41 |
| THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A.LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT | 316,100 | 1.25 |

※上記のほか当社所有の自己株式1,600,431株(6.35%)があります。

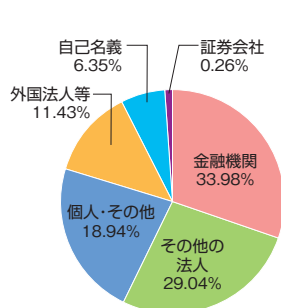
配当推移

当社は、株主各位に対し継続的かつ安定的に利益配分を実施することを基本としつつ、あわせて将来の事業展開と経営基盤強化のための内部留保の充実等も勘案し配当金額を決定する方針をとっております。当期配当につきましては、期末配当金を14円とし、すでにお支払いした中間配当金14円と合わせて年間28円の配当を予定しております。

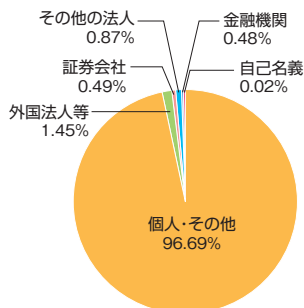
配当金および配当性向



【所有者別所有株式数】



【所有者別株主数】



株主優待

ギフトカード

- 対象：毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元（100株）以上の当社株式を保有の株主様



| 内容（お一人あたり） | |
|-------------------|----------------|
| 10単元（1,000株）以上 | 3,000円分のギフトカード |
| 5単元（500株）以上10単元未満 | 2,000円分のギフトカード |
| 1単元（100株）以上5単元未満 | 1,000円分のギフトカード |

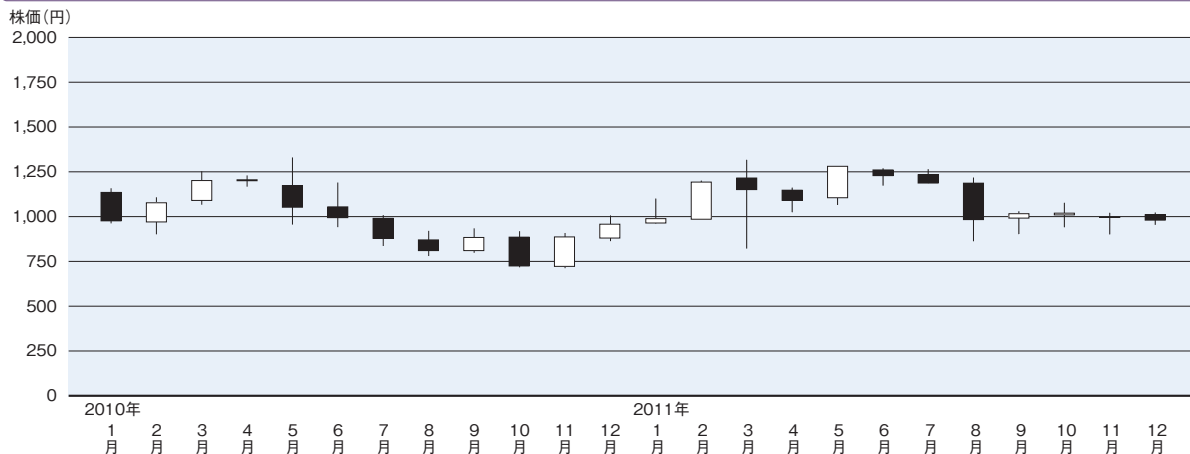
- ※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。
 ※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

タイ旅行

- 対象：1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様
 ※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。
- 内容：当社の主力事業であるEMS（電子機器受託製造サービス）に対する理解を深めていただくことを主眼に、当社基幹工場・タイ工場の視察を含むタイ旅行に、抽選で10名の株主様をご招待いたします。（毎年1回）



株価推移（2010年1月～2011年12月）



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
(ホームページURL)

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で商号を「住友信託銀行株式会社」から「三井住友信託銀行株式会社」に変更いたします。

※郵便物送付先の住所および電話照会先の電話番号に変更はございません。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、ディア・ネットサービスホームページ(<https://www.dirnet.jp/7613>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。